【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2013-507111(P2013-507111A)
【公表日】平成25年3月4日(2013.3.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-011
【出願番号】特願2012-532498(P2012-532498)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｂ　13/00　　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　73/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｂ　13/00
Ｂ６５Ｄ　73/00　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月10日(2013.10.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
口内に収まるようなサイズにされた無煙タバコの小分け部の可撓性ストリップを備えたポケットサイズのディスペンサであって、
各々が口内に収まるようなサイズにされた直列関係の無煙タバコの複数の小分け部と、前記複数の小分け部に取り外し可能に取り付けられたベーステープとを含む可撓性ストリップを備え、
前記ポケットサイズのディスペンサが、コイル状形態で前記可撓性ストリップを収容し、該ポケットサイズのディスペンサ及び可撓性ストリップは、消費者が個々の小分け部を前記ベーステープから分離できるように適合されている、ポケットサイズのディスペンサ。
【請求項２】
前記個々の小分け部が、水溶性非架橋成分と、実質的に水不溶性架橋ポリマーとを含むコーティングによって少なくとも部分的に内包されるタバコ粒子の集合を含む、請求項１に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項３】
前記個々の小分け部が、食品等級接着材で前記ベーステープに取り付けられたポーチを含み、該ポーチが、少なくとも１つのラップシール縁部を有する水透過性ラッパー内に内包される無煙タバコを含む、請求項１に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項４】
前記小分け部は、前記ベーステープから取り外した直後に消費者の口内に配置するのに好適である、請求項１～３の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項５】
前記ベーステープは、個々の小分け部を取り外したときにそのままの状態である、請求項１～４の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項６】
前記ベーステープが、前記ディスペンサ内に残っている前記小分け部の量を示すよう適合された視覚的インジケータを含む、請求項１～５の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。

【請求項７】
前記視覚的インジケータが、連続又は段階的である対角線状に延びるラインを含む、請求項６に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項８】
前記視覚的インジケータが、２つ又はそれ以上の色を含む、請求項６又は７の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項９】
前記視覚的インジケータが数字を含む、請求項６～８の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１０】
前記視覚的インジケータが、前記ベーステープの終端付近にのみ設けられる、請求項６～９の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１１】
前記ベーステープに対向する前記小分け部の側部には、２次ラッパーが存在しない、請求項１～１０の何れかに記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１２】
食品等級接着材により前記ポーチを前記ベーステープに取り付けて、前記ポーチが個別にラップされ、前記ラッパーは、任意選択的に、香味料、ライナ、柔軟剤、褐変防止剤、又は着色剤のうちの１つ又はそれ以上を含む、請求項３に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１３】
食品等級接着材により前記ポーチを前記ベーステープに取り付けて、前記複数のポーチのラッパーが単体構造ラッパーであり、前記複数のポーチにより前記少なくとも１つのラップシール縁部が共用され、前記ラッパーは、任意選択的に、香味料、ライナ、柔軟剤、褐変防止剤、又は着色剤のうちの１つ又はそれ以上を含む、請求項３に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１４】
前記ポーチが、隣接する小分け部間の前記単体構造ラッパーのセクションにおいて有孔接続により分離されるように適合されている、請求項１３に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１５】
隣接する前記小分け部間の単体構造ラッパーのセクションが、個々のポーチ間に丸みのある連結部を有し、前記ポーチが丸みのあるコーナを有するようにする、請求項１３に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１６】
前記小分け部が繊維又は紙ラッパーがなく、前記ポリマーのうちの１つが多糖を含み、前記小分け部が、ユーザの口内でそのままの状態であるように適合される、請求項２に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１７】
前記小分け部が繊維又は紙ラッパーがなく、前記ポリマーのうちの１つが多糖を含み、前記小分け部が、ユーザの口内に挿入された後に分散するよう適合されている、請求項２に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１８】
前記小分け部が、湿潤剤、又は香味料、或いはこれらの組み合わせを含む、請求項１６又は１７に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項１９】
前記ディスペンサが２つ又は３つの要素を含む、請求項１～１８に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項２０】
前記可撓性ストリップが前記ディスペンサ内で遊離しており、又は前記ディスペンサが

前記可撓性ストリップを保持する螺旋形態を含む、請求項１～１９に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項２１】
前記ディスペンサは、前記可撓性ストリップが供給される開口の取り外し可能カバーを含み、前記カバーが、任意選択的に供給後に前記開口上で交換可能である、請求項１～２０に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項２２】
前記ディスペンサは、消費者が前記ベーステープから小分け部を取り外すのを支援するよう適合された突出部を含む、請求項１～２１に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項２３】
前記ディスペンサは、１つ又はそれ以上の小分け部が取り外された前記ベーステープを受けるように適合されている、請求項１～２２に記載のポケットサイズのディスペンサ。
【請求項２４】
無煙タバコのポーチの可撓性ストリップを製造する方法であって、
無煙タバコの小分け部を水透過性ラッパーと組み合わせる段階と、
前記小分け部の周りに前記ラッパーを折り畳み、前記無煙タバコを内包する段階と、
前記ラッパーの対向する縁部をラップシールでシールして前記無煙タバコのポーチを形成する段階と、
前記無煙タバコのポーチを食品等級接着材を用いてベーステープに接着し、該ベーステープに取り外し可能に取り付けられた前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップを得る段階と、
を含む方法。
【請求項２５】
前記シール形成段階が、直列関係で分離可能に連結された前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップを形成して、単体構造ラッパーを共用し、前記ラップシール縁部は、直列関係で分離可能に連結された個々のポーチにより共用される、請求項２４に記載の方法。
【請求項２６】
前記ラッパーを打ち抜き切断して個々のポーチ間に丸みのある連結部を形成する段階を更に含み、該ポーチが丸みのあるコーナを有する、請求項２５に記載の方法。
【請求項２７】
前記個々のポーチ間の前記ラッパーに穿孔を生成する段階を更に含む、請求項２５又は２６に記載の方法。
【請求項２８】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含む、請求項２５～２７のいずれか１つに記載の方法。
【請求項２９】
前記ラッパーを切断して個別にラップされたポーチを製作する段階を更に含む、請求項２４に記載の方法。
【請求項３０】
前記ポーチが、前記ベーステープから取り外された直後に消費者の口内に配置するのに好適である、請求項２４に記載の方法。
【請求項３１】
前記ベーステープが、前記個々のポーチを取り外したときにそのままの状態である、請求項２４又は３０に記載の方法。
【請求項３２】
前記ベーステープが、前記可撓性ストリップの終端までに残っているポーチの量を示すように適合された視覚的インジケータを含む、請求項２４、３０又は３１に記載の方法。
【請求項３３】
前記視覚的インジケータが、連続又は段階的である対角線状に延びるラインを含む、請求項３２に記載の方法。

【請求項３４】
前記視覚的インジケータが、２つ又はそれ以上の色を含む、請求項２８又は３３に記載の方法。
【請求項３５】
前記視覚的インジケータが数字を含む、請求項３２、３３、又は３４に記載の方法。
【請求項３６】
前記視覚的インジケータが、前記ベーステープの終端付近にのみ設けられる、請求項３０～３３の何れかに記載の方法。
【請求項３７】
前記ベーステープに対向する前記ポーチの側部には２次ラッパーが無い、請求項２４、又は請求項３０～３６の何れかに記載の方法。
【請求項３８】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサが２つ又は３つの要素を含む、請求項２４に記載の方法。
【請求項３９】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記可撓性ストリップが前記ディスペンサ内で遊離しており、又は、前記ディスペンサが前記可撓性ストリップを保持する螺旋形を含む、請求項２４又は３８に記載の方法。
【請求項４０】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサが、前記可撓性ストリップが供給される開口の取り外し可能カバーを含み、該カバーが、任意選択的に供給後に前記開口上で交換可能である、請求項２４、３８、又は３９に記載の方法。
【請求項４１】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサは、消費者が前記ベーステープから前記ポーチを取り外すのを助けるように適合された突出部を含む、請求項２４、３８、３９、又は４０に記載の方法。
【請求項４２】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサは、１つ又はそれ以上の前記ポーチが取り外された前記ベーステープを受けるように適合されている、請求項２４、３８、３９、４０、又は４１に記載の方法。
【請求項４３】
前記ラッパーが、香味料、ライナ、柔軟剤、褐変防止剤、又は着色剤のうちの１つ又はそれ以上を含む、請求項２４に記載の方法。
【請求項４４】
無煙タバコのポーチの可撓性ストリップを製造する方法であって、
タバコ粒子の小分け部を事前に小分けされたタバコ材料のユニットに形成する段階と、水溶性成分と、架橋時に実質的に水不溶性ポリマーを形成する架橋性ポリマー成分とを含む多成分水性コーティング溶液と前記事前に小分けされたタバコ材料のユニットを接触させて、前記事前に小分けされたタバコ材料のユニット上にコーティングを形成する段階と、
前記コーティングにおいて前記架橋性ポリマーを架橋して、表面上に半溶解可能コーティングを備えた前記事前に小分けされたタバコ材料のユニットを含む無煙タバコの小分け部を形成する段階と、
を含み、前記半溶解可能コーティングが、水溶性非架橋成分と実質的に水不溶性架橋成分とを含み、前記方法が更に、

前記無煙タバコの小分け部をベーステープに接着し、該ベーステープに取り外し可能に取り付けられた前記無煙タバコの小分け部の可撓性ストリップを得る段階と、
を含む、方法。
【請求項４５】
前記非架橋性ポリマーは、コーティング溶液の重量に基づき重量で約１５％～約３０％の量が含まれ、架橋時に実質的に水不溶性ポリマーを形成する前記架橋性ポリマーは、コーティング溶液の重量に基づいて重量で約０．３％～約１．５％の量が含まれる、請求項４４に記載の方法。
【請求項４６】
前記ポーチが、前記ベーステープから取り外した直後に消費者の口内に配置するのに好適である、請求項４４に記載の方法。
【請求項４７】
前記ベーステープが、前記個々のポーチを取り外したときにそのままの状態である、請求項４４又は４６に記載の方法。
【請求項４８】
前記ベーステープが、前記可撓性ストリップの終端までに残っているポーチの量を示すように適合された視覚的インジケータを含む、請求項４４、４６、又は４７に記載の方法。
【請求項４９】
前記視覚的インジケータが、連続又は段階的である対角線状に延びるラインを含む、請求項４８に記載の方法。
【請求項５０】
前記視覚的インジケータが２つ又はそれ以上の色を含む、請求項４８又４９に記載の方法。
【請求項５１】
前記視覚的インジケータが数字を含む、請求項４８、４９、又は５０に記載の方法。
【請求項５２】
前記視覚的インジケータが、前記ベーステープの終端付近にのみ設けられる、請求項４８～５１の何れかに記載の方法。
【請求項５３】
前記ベーステープに対向する前記ポーチの側部には２次ラッパーが無い、請求項４２、又は請求項４６～５２の何れかに記載の方法。
【請求項５４】
前記小分け部が繊維又は紙ラッパーがなく、前記ポリマーのうちの１つが多糖を含み、前記小分け部が、ユーザの口内でそのままの状態であるように適合される、請求項４４に記載の方法。
【請求項５５】
前記小分け部が繊維又は紙ラッパーがなく、前記ポリマーのうちの１つが多糖を含み、前記小分け部が、ユーザの口内に挿入された後に分散するよう適合されている、請求項４４に記載の方法。
【請求項５６】
前記小分け部が、湿潤剤、又は香味料、或いはこれらの組み合わせを含む、請求項５４又は５５に記載の方法。
【請求項５７】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサが２つ又は３つの要素を含む、請求項４４に記載の方法。
【請求項５８】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記可撓性ストリップが前記ディスペンサ内で遊離しており、又

は、前記ディスペンサが前記可撓性ストリップを保持する螺旋形を含む、請求項４４又は５７に記載の方法。
【請求項５９】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサが、前記可撓性ストリップが供給される開口の取り外し可能カバーを含み、該カバーが、任意選択的に供給後に前記開口上で交換可能である、請求項４４、５７、又は５８に記載の方法。
【請求項６０】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサは、消費者が前記ベーステープから前記ポーチを取り外すのを助けるように適合された突出部を含む、請求項４４、５７、５８、又は５９に記載の方法。
【請求項６１】
前記無煙タバコのポーチの可撓性ストリップをポケットサイズのディスペンサと組み合わせる段階を更に含み、前記ディスペンサは、１つ又はそれ以上の前記ポーチが取り外された前記ベーステープを受けるように適合されている、請求項４４、５７、５８、５９、又は６０に記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
別の実施形態において、無煙タバコの小分け部の可撓性ストリップを製造する方法は、タバコ粒子の小分け部を事前に小分けされたタバコ材料のユニットに形成する段階と、水溶性成分と、架橋時に実質的に水不溶性ポリマーを形成する架橋性ポリマー成分とを含む多成分水性コーティング溶液と事前に小分けされたタバコ材料のユニットを接触させて、事前に小分けされたタバコ材料のユニット上にコーティングを形成する段階と、コーティングにおいて架橋性ポリマーを架橋して、表面上に半溶解可能コーティングを備えた事前に小分けされたタバコ材料のユニットを含む無煙タバコの小分け部を形成する段階と、を含み、半溶解可能コーティングが、水溶性非架橋成分と実質的に水不溶性架橋成分とを含み、本方法が更に、無煙タバコの小分け部をベーステープに接着し、該ベーステープに取り外し可能に取り付けられた無煙タバコの小分け部の可撓性ストリップを得る段階と、を含む。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９１】
好ましい実施形態において、皮膜形成ポリマーの濃度は、溶液中で約０．５ｗｔ％～２０ｗｔ％のポリマーがある。最も好ましくは、皮膜形成ポリマー溶液の濃度は、約１ｗｔ％～約１．５ｗｔ％のポリマー成分であり、残部は水である。